

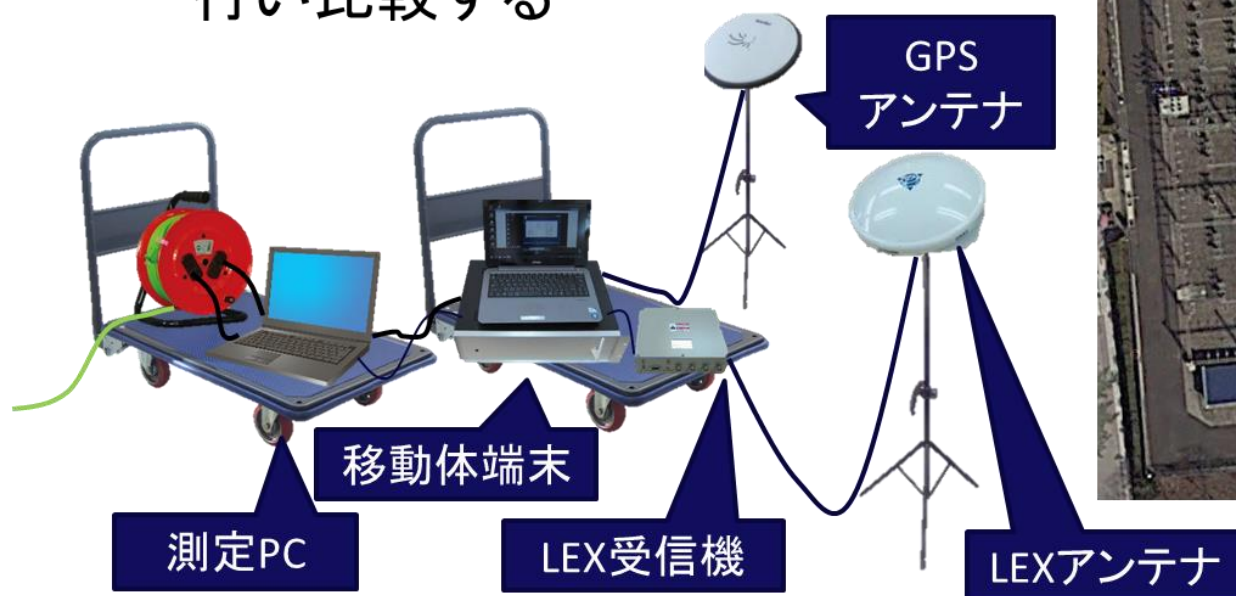
□利用実証提案書  
■利用実証計画書

平成 27 年 10 月 16 日 Ver.1

テーマ	変電所構内におけるセンチメートル級測位の利用可能性検討	
実証参加機関 (共同機関)	(一財)電力中央研究所 システム技術研究所 通信システム領域	
目的	変電所構内における位置情報の精度を取得し、金属設備や妨害電界に対する影響について評価する	
期間	全体	2015 年 12 月 1 日 ~ 2016 年 3 月 31 日
	時間・頻度	<ul style="list-style-type: none"> <li>●時間:10 時~16 時</li> <li>●頻度:12 月、1 月のいずれか連続 5 日間(別途調整)</li> </ul>
実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地名:群馬県前橋市苗ヶ島町</li> <li>●環境:変電所内</li> <li>●その他:金属設備周辺で高ノイズ環境である条件下にて実施する</li> </ul>	
構成 ※必要に応じて構成 図等を次ページ以降 に添付	別紙参照	
内容 ※必要に応じて次ペ ージ以降に添付	<ul style="list-style-type: none"> <li>●実証概要 環境の厳しい電力設備での準天頂衛星システム利用を想定し、金属設備が多く、高ノイズ環境でもある変電所設備内での位置精度の影響を測定する。</li> <li>●実証の確認及び評価(利用効果の定量的評価方法) <ul style="list-style-type: none"> <li>・変電所構内での測定ポイントにて緯度経度を測定し、位置精度を測定する</li> <li>・受信信号の異なる衛星測位サービスと比較し、利用可能エリアならびに測位精度を比較する</li> </ul> </li> <li>●確認時期 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実証終了後にデータ取り纏めを行う</li> </ul> </li> </ul>	
受信信号	<ul style="list-style-type: none"> <li>●使用する測位信号名を記載</li> <li>・GPS:L1C/A、L2C、L2P</li> <li>・QZS:L1C/A、L2C、LEX(CMAS)</li> </ul>	
受信設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>●使用する測位信号受信機などを記載</li> <li>■貸与品目/数(センチメートル級測位実験システム/1台)</li> <li>□持込品目/数( / )</li> </ul>	
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>●測位結果確認ソフトウェア</li> <li>□</li> </ul>	
実証前の要求事項		
実証時の要求事項		
実証後の要求事項		
その他		

変電所構内に受信機を持ち込み、各ポイントにおける位置精度を測定する

- 電磁波などのノイズ、金属による電波の反射・散乱が激しい電力設備周辺において、センチメートル級測位が有効であるのか確認する
- 他の受信信号でも測位を行い比較する



変電所構内